

大須賀林
自民党市議団・無所属の会

## 道の駅の進捗について

**問　導入可能性調査の結果・結論を伺う。**

答　市の地域資源、国道23号名豊道路全線開通に伴うアクセス性向上等の特性を踏まえ、本市における道の駅の導入の可能性は高いと示されたが、あくまで可能性であり今後も多角的な検討の必要がある。今年度からは産業振興部以外の市職員もワーキングメンバーとなり、勉強会や視察等を重ねている。

**問　具体的な候補地は挙がったのか伺う。**

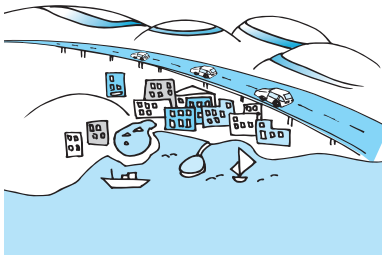
答　現時点では全庁的な勉強会が始まったばかりの状況であり、特定の候補地の決定には至っていない。今後も検討していきたい。

**問　駅の規模や先行取得用地の暫定活用を国に相談しているか。**

答　国交省より、駐車台数は原則20台以上が求められている。将来の道路拡幅に向け既に取得した用地等に、暫定的に道の駅を設置することについて現時点で国と具体的な協議はしていない。国交省中部地方整備局等には研究していく旨の報告・相談はしている。

**問　今後のスケジュールを伺う。**

答　現時点で具体的なスケジュールを示せる段階にはない。市内事業者等の意見やニーズも踏まえ、他自治体の先進事例の研究や現地視察などを続け、本市の方向性を見極めたい。





千賀充能
自民党市議団・無所属の会

## 西浦学園を魅力ある学校にするために

**問　西浦学園が選ばれる学校となるための特色づくりについて伺う。**

答　特色としてグローカル教育を打ち出している。英語教育では実践的なコミュニケーション能力の育成、ＩＣＴ教育では情報活用能力等の向上、地域学習では西浦の海や自然、西浦温泉等の観光資源、農業・水産業などの地域資源を活用した学びにつなげていく。

## 育休退園について

**問　育休退園の解消に向けた取組を伺う。**

答　低年齢児保育の十分な受入枠の確保が必要であり、継続して保育需要や保育士の配置状況などを踏まえ、保育士の確保や施設整備に取り組んでいる。



西浦地区学校複合施設

## 行政ＤＸ・マイナンバー活用について

**問　市民が自宅等で手続を完結できる行政を目指すため、本市の行政ＤＸの到達点と実現までの時期、工程について伺う。**

答　本市ではスマート市役所改革推進方針に基づき、令和12年度までの取組の方向性を定めている。市民利用の多い窓口サービスを中心にＩＣＴを活用して業務手法を最適化することにより、市民の利便性向上及び市職員の負担軽減に資する様々な取組を着実に進めることに尽力していく。



芦刈純奈
自民党市議団・無所属の会

## 母乳バンクについて

**問　市民病院を母乳バンクのドナー登録施設として登録するために必要な設備や人員等の課題を伺う。**

答　登録のために当院で新たに必要な設備はないが、受入れに際し、ドナー登録希望者の予約受付、対面問診や採血等の検診や物品のお渡し、採取した検体の契約検査会社への検査依頼、問診書類の郵送等の運用の整備、人材の確保が必要である。

**問　市民病院として、ドナー登録施設への登録に向けた協議を進める考えを伺う。**

答　ドナー登録施設へのニーズや要望、近隣自治体の状況などを健康推進課と共有し、まずは現状分析をしていく。

## 実証実験の社会実装と市立保育園でのお昼寝布団循環

**問　循環型お昼寝布団の導入について伺う。**

答　保護者の負担を軽減しつつ、再利用する循環型の仕組みであり、本市の方向性としても、意義深いと考える。

**問　市の施設等で循環型サービスなどを積極活用する考えを伺う。**

答　サーキュラーシティ実現には、循環型な商品やサービスの選択が、日常の中で当たり前になる必要がある。現在、各課でサーキュラーエコノミー観点のイベント運営や商品の選択等が広まっており、引き続き推進したい。



お昼寝ふとん循環プロジェクト